

る歯科専門家のかかわりの希望もみられた。そのほか、義歯の適合や口腔ケアの質の向上を希望する例もみられた。

6) 口腔ケアで困っていること

口腔ケアに関する意見(表 48)には、非常に多くの意見が書かれていた。記載内容を意味内容によりいくつかのカテゴリーに振り分けた。

ケアの困難事例に対するケアスキルについて多く書かれていた。困難なケースとしては、「認知症患者の口腔ケア」や「開口不良の人のケア」、「ケアを拒否する人、うまくできない人への対応」、「口臭のケア」「舌苔のケア」「含嗽不可能な人へのケア」などが挙げられ、口腔ケアの技術に関しては、「具体的な口腔ケアの方法が分からない」「義歯のケア」などが挙げられていた。そのほか、「本人・家族の理解や協力が得られない」ケースもみられ、「口腔ケアの評価」の問題や「施設外でのケア不足」も多くみられた。

研修会などについては、勉強会ができていない、摂食嚥下のメカニズムや口腔機能向上など、実践で応用できる研修会や講習会の必要性、保険請求の方法などについても情報がほしいとの声がかかれた。口腔ケアプランや効果については、ケアプランの立て方や評価の方法、個別計画の立案の問題、嚥下訓練の方法と効果がまちまちである、などの意見もみられた。

そのほか、物品や器具の問題やマンパワーや時間の問題、歯科専門家との意見交換、口腔内のチェックと治療が連携していない点などが挙げられた。

D. 考察

今回の調査では、口腔ケアに対する関心は極めて高く 90%以上の施設で、その重要性について理解していた。しかしながら、実際の口腔ケアのアセスメントやケアプラン、評価については、十分に出来ていない現状が認められた。今回は、それ

ぞれの施設における口腔ケア担当者に対する調査であったので、具体的な口腔ケア状況や口腔機能向上の状況は不明であったが、介護保険関連施設における口腔ケアの普及が進んでいることを示す結果であった。口腔ケアに関連した研修への参加は、約 8 割の施設で職員を研修に参加させていると回答したが、具体的な人数や状況は不明であった。研修の回数については 4 回以上の施設もおよそ 4 分の 1 にみられ、口腔ケアの研修に対する意識の高さが示唆された。

口腔ケアに対する認識では、重要性については、理解しているものの、口腔ケアスキルの自己評価においては、口腔ケアやアセスメント、ケアプランの立案に関する自己評価の項目で低い傾向が見られた。とくに、口腔ケアの事後評価については、過半数が「いいえ」「わからない」と回答しており、口腔ケアは実施しているものの、その効果がどの程度なのか、わからない不安がみられていた。「口腔ケアで困っていること」項目にも多く記載されていたように、多くの専門職が口腔ケアに関するスキルが十分であると思っておらず、新たな知識技術を習得する必要性を感じていることがうかがえた。

看護師と介護士の口腔ケアスキルの自己評価や観察項目、口腔ケアに期待する効果などの結果から、口腔ケアに関するアセスメントやケアプランの立案、適切なケアスキルなどの知識技術を習得したいというニーズはほぼ同様の傾向があることがわかった。ただし、看護師にはそれに加えて、医師、歯科医師との連絡調整や日常的な口腔ケアに関する相談役を担っていることも明らかとなり、より専門的な歯科の知識が必要であることが示唆された。施設形態別では、「入所施設」に比較して「通所施設」や「訪問」で、口腔ケアに対する体制やスキルについて不安を感じている結果がみられた。これらのことから、口腔ケアの具体的な方法やプラン作成、事後評価の手法に関する研修会の実施が必要であることが認めら

れた。とくに、入所施設以外の通所や訪問などの施設では、口腔ケアに対する認識がやや低い傾向も見られ、歯科専門家のより積極的な関わりの重要性が示唆された。

口腔ケアという用語に関しては、口腔内の清潔保持と回答しているものが多く、肺炎予防よりも口臭緩和を挙げたものが多くみられ、今後は、口腔内の局所的な効果だけでなく全身的な効果についても正しく理解してもらうことも大切であると思われた。

口腔観察については、食物残渣については、毎回観察していると回答しているものがほとんどであったが、口臭や義歯、口唇や口腔内の乾燥、舌などでは、約半数にとどまっていた。口腔ケアでは、観察項目も重要であり、ケアプランや事後評価が十分に出来ていない点を関連するかもしれないと思われた。口腔ケアの回数は、3回が最も多く42.1%で、約6割の施設では毎日2回以上の口腔ケアを実施しており、毎日1回の施設は、約3分の1であった。一方、口腔ケアに関与していない施設も12件みられたことから、「通所」や「ケアハウス」などであっても、口腔ケアの実施について関与する必要性が伺われた。

口腔ケア物品については、歯ブラシが最も多かったが、ガーゼの使用も多くみられ、効果やケア方法の問題から、さらに現状に関する調査が必要と思われた。また歯間ブラシやフロスといった清掃補助具の使用頻度が極めて低く、ケア物品に対する知識の情報提供も必要であると思われた。舌ブラシは、歯間ブラシやフロスよりも頻度が約2倍高く、今後は、舌苔の成り立ちや意義に対する研修、清掃補助具の役割や効果に対する研修なども重要であると思われた。ケア物品のうち、洗浄剤では、歯磨剤が約8割の使用頻度であったが、保湿剤や粘膜保護剤といった製品の使用頻度は極めて低く、口腔ケアは歯磨きであるとの意識がまだ強いのではないかと考えられた。消毒剤としては、イソジン・ガーグルが最も多く約半数の施設

で使用されていた。また、入れ歯洗浄剤の使用も約6割に上り、薬剤に関しては、対象者の口腔内状況と使用効果、薬剤の影響などについても正しい知識を情報提供すべきであると考えられた。

今回の調査では、口腔ケア物品の選択は、家族によるものが多く、次いで介護士、看護師によるものがほとんどであった。歯科医師、歯科衛生士による選択もそれぞれ9.6%、6.8%にみられたが、全体的には、用具選択への関わりは少ないと思われた。口腔ケアの経費については、利用者負担が約4割、施設側負担が約3割で、施設一部負担が約3割で、施設ごとに異なる体制であることが認められた。これらは、施設側の考え方や口腔ケア体制などにも影響されているのではと考えられた。

歯科専門家との連携については、199件76.5%は連携があると回答しており、約4分の3の施設で連携されていることが認められた。ただし、その内容はさまざまで、歯科医師が定期的に来ると回答したのは、連携があると回答した施設の約半数の100件であった。定期的に来る頻度は週1回が最も多く、1回以上来る施設は、定期的に来ると回答した施設の4分の3を占めた。

相談体制については、相談体制の無い施設56件中、「相談できる歯科医師がほしい」との希望は28.6%で、「考えていない」と回答した施設69.6%に比較して、少ない回答であった。これらは、連絡体制の問題や歯科医師の口腔ケアや口腔機能向上に関する関与の程度について理解されていないことを反映しているのではないかと考えられた。また、日常業務で口腔ケアについて相談している職種は、看護師や介護士で、歯科専門家の関与は極めて少ない結果であった。

口腔機能向上サービスについては、「取り入れている」施設は30.6%のみで、「取り入れる予定はない」施設は40.1%であった。訪問やケアハウス、経費老人ホームでは、取り入れる予定がないと回答した施設が多かった。「入所施設」の約3

割が、取り入れる予定がないと回答していることから、入所者の QOL 向上の観点からも、その理由などについて詳細な実態調査と解析が必要であると思われた。

歯科専門家との連携については、個別の口腔ケアに対する評価や個別計画などについての要望が多く、また、摂食嚥下機能に関する研修会や講習の希望が多く、口腔ケアだけでなく摂食嚥下機能を含めた口腔機能や食事に関する意識の高さが伺えた。今後は、これらの現状から、口腔ケアの実践や摂食嚥下訓練の具体的な方法やケアプラン作成、事後評価等についての研修会実施が必要であると思われた。

口腔ケアで困っている項目については、認知症や開口不良など、困難なケースへの対応や具体的なケア方法の対応についての項目が多くみられ、これらのケースに対しては、歯科専門家からの情報提供が出来る体制を確立することの必要性が示唆された。

E. 結論

今回、介護保険関連施設に対して口腔ケアの現状を把握するために調査を行った。その結果、高齢者の口腔ケアおよび口腔機能向上については、その必要性や重要性は理解されているが、実際の口腔ケア方法やケアプラン作成、評価方法については未だ不十分と思われた。また、歯科専門家に対する相談体制についても、地域医療の観点からも、今後充実させる必要があると思われた。

高齢者施設における口腔機能の向上を図る口腔ケアに関しては、口腔乾燥や食機能など、個々の患者の口腔状態に応じたアセスメントとケア指針が必要と思われ、そのための研修のあり方や評価方法などに関するガイドラインの必要性が示唆された。また、地域医療連携の観点から、各地区における相談窓口や相談歯科医師の整備についての検討が必要と考えられた。

1. 口腔ケアに対する理解は高いが、実際の実施

に関しては、不安を抱えていることが認められた。

2. スタッフの口腔ケアに関する知識、技術および専門的調整能力の向上が必要である。
3. 現場においては、ケア物品の選択、ケアの方法など具体的スキルの向上が望まれている。
4. 口腔アセスメント項目や観察の指針を整備する必要がある。
5. 口腔内の清潔保持のためのケア方法のガイドラインが必要である。
6. 口腔ケア物品の保管、管理方法についてのガイドラインが必要である。
7. 口腔ケアの困難事例として、認知症や開口不良など要介護高齢者が上げられた。
8. 歯科専門家のより効果的な関わりが必要であると思われ、相談体制の整備が必要と思われた。
9. 口腔ケアの実践を含めた、口腔機能向上や摂食嚥下訓練に関する研修会の必要性も示唆された。
10. 要介護高齢者の口腔機能向上と QOL 向上の観点から、より詳細な実態の把握が必要であると思われた。
11. 以上から、口腔機能の向上を図る口腔ケアに関して、個々の患者の口腔状態に応じたアセスメント指針が必要と思われた。

本研究の調査実施の主体は、佐賀県歯科医師会・地域保険委員会（服部信一）によるもので、今回、調査にご協力いただいた施設長はじめスタッフの皆様、関係各位に心から感謝申し上げます。

引用文献

- 1) 原等子、柿木保明：介護保険下の高齢者施設ケアにおける口腔ケアの現状と課題. 厚生労働省科学研究費補助金・長寿科学総合研究事業「高齢者の口腔乾燥改善と食機能支援に関する研究」平成 18 年度研究報告書. 69-104, 2007.

(資料)

口腔ケアに関する調査

- 今、現在のあなたの持たれる率直なご意見をお聞かせください。
- 以下の項目について、選択肢があるものには当てはまるものに○印をつけてください。
- 選択肢がない場合は、該当すると思われる内容をわかる範囲でご記入ください。

A 回答される方についてお伺いします。該当するものに○をつけて下さい。

- 1 職務： 総務・事務 看護師 介護士 歯科衛生士 言語聴覚療法士
- 2 役職： 管理職(施設長・部長など) 中間管理職(課/係長・師/士長など) 非管理職
- 3 所有資格： 医師 看護師 介護福祉士 社会福祉士 ホームヘルパー ケアマネージャー
歯科衛生士 言語聴覚士 その他〔 〕
- 4 現在の専門職としての通算勤務年数 ()年
- 5 職員を、口腔ケアに関する研修に参加させたことがありますか？
(はい・いいえ・覚えていない)
- 6 A-5で「はい」と答えた方、その回数はおおよそ (1回・2回・3回・4回以上)
- 7 A-5で「はい」と答えた方、口腔ケアの実技を含む研修を受けさせたことがありますか？
(はい・いいえ・覚えていない)

B あなたの施設についてお伺いします。

- 1 施設の種別は、
()介護老人療養病棟 ()介護老人保健施設(入所) ()介護老人保健施設(通所)
()介護老人福祉施設(入所) ()介護老人福祉施設(通所) ()デイケア
()デイサービス ()その他〔 〕

- 2 現在あなたの施設の定員は、 ()名

C 口腔ケアに関する以下の問いに、あなたの今のお考えを率直にお答えください。

質問項目	いいえ	少し	大体	はい	わからない
① 食べていない人の口腔ケアは毎日必要だと思う					
② 口腔ケアで肺炎予防は可能である					
③ 口腔内が乾燥していると誤嚥のリスクは高くなる					
④ 自信を持って口腔ケアができる					
⑤ 口腔のアセスメントができる					
⑥ 個人に合わせた口腔ケア物品が選択できる					
⑦ 口腔ケアプランを立案できる					
⑧ 口腔ケア実施後の評価をしている					
⑨ 家族の歯磨きをしたことがある					
⑩ 要介護者の口腔ケアの方法について説明できる					

D あなたの考える口腔ケアについてお伺いします。

1.あなたが日ごろ使っているケア用語として、多い順番に3番まで数字をご記入ください。

口腔ケア マウスケア 口腔看護 口腔介護 オーラルケア ロケア
 その他 []

2.あなたの使用する上記D-1の用語には、通常どのような意味を含めていますか。

多い順番に3番まで数字をご記入ください。

口腔内の清潔保持 ブラッシング 含嗽 清拭[ガーゼ・脱脂綿などによる]
 口臭緩和 口腔乾燥緩和 口腔周囲のマッサージ 口唇のストレッチング
 摂食訓練 嚥下訓練 アイシング[アイスマッサージ] その他[]

3.あなたが期待する口腔ケアの効果は？ 多い順番に3番まで数字をご記入ください。

苦痛の緩和 口腔内の清潔保持 口臭緩和 口腔乾燥緩和
 口腔周囲のマッサージ効果 唾液分泌促進 食べられる口をつくる
 飲み込みがよくなる 笑顔が多くなる 呼吸が楽になる 風邪を引かなくなる
 肺炎予防 痰が少なくなる その他[]

4.口腔ケアの際に観察項目として、毎回みているものに○、ときどきみているものに△の印をつけてください。

食物残渣 歯肉の状態 残存歯の状態 口腔内の乾燥
 口唇の乾燥 舌の状態 義歯の装着状態 口臭 開口状態
その他の観察項目や使用している器具等あれば、器具名などご記入ください。

[]

E 現在、行っている口腔ケアについて具体的にお伺いします。

1.サービス利用者に行う口腔ケアは、一日何回程度しておられますか？

1回 2回 3回 4回 それ以上 していない
その他[週に()回]

2.現在、口腔ケアにどのような器具・薬剤を使用していますか。時々使用するものも含めて、施設で利用しているもの全てに印をつけてください。(具体的に商品名をご記入いただいてもかまいません)

口腔清掃物品 歯ブラシ 豚毛歯ブラシ 歯間ブラシ デンタルフロス 舌ブラシ
 スポンジブラシ ワンタフトブラシ(一束ブラシ) 義歯用ブラシ 電動歯ブラシ*
 ガーゼ 脱脂綿 綿棒 *音波なども含む
 その他[]

口腔内洗浄剤 歯磨き粉 デンタルリンス お茶
 その他[]

口腔内保湿剤 絹水またはオーラルウェット ウェットケア その他[]

口腔粘膜保護剤()ワセリン ()グリセリン ()蜂蜜 ()リップクリーム ()オーラルバランス
()その他[]

口腔内消毒剤()イソジンガーグル ()アスレン ()義歯洗浄剤 ()その他[]

入れ歯洗浄剤()義歯洗浄剤(ホリデントなど) ()その他

その他の種類の方法・器具など[]

3.器具の清掃や保管方法について当てはまるものに印をつけてください。(複数回答可)

a 清掃：()毎日 ()週1-2回 ()週3-4回 ()月1-2回 ()しない
()その他[]

b 保管場所：()一括保管 ()ベッドサイド ()その他[]

4.E-2 で回答した器具や薬剤は主にどなたが選んで購入していますか。(複数回答可)

()本人 ()家族 ()歯科医師 ()医師 ()歯科衛生士 ()生活相談員
()ケアマネジャー ()看護師 ()介護福祉士 ()ホームヘルパー ()言語聴覚士
()理学療法士 ()作業療法士 ()栄養士 ()その他[]

5.E-2 で回答した器具や薬剤の費用負担について、どのようにしていますか？

()全額利用者負担 ()全額施設負担 ()一部施設負担 [施設負担物品]]

6.施設には、歯科医師に相談を受けられる体制にありますか？

()ある→ a-eへ ()ない→[f]へ

c 歯科医師が、常駐している() 歯科)*

d 歯科医師が、定期的にくる() 歯科)* ()ヶ月に()回程度

e 依頼時にくる() 歯科)*(数日以内・1週間以内・その他[])にくる

f 基本的にサービス利用者のかかりつけ歯科医に連絡する

g その他[]

※*印の歯科医院名は、アンケート結果には反映されません。

f：E-6で「ない」と回答された方へ

()相談できる歯科医師がほしい

()今のところ考えていない

↳理由[]

7.歯科医師または歯科衛生士以外に口腔ケアについて相談できる人がいますか。(複数回答可)

()医師 ()看護師 ()介護福祉士 ()生活相談員 ()ホームヘルパー ()栄養士
()言語聴覚士 ()理学療法士 ()作業療法士 ()いない ()その他[]

8. 歯科専門家との連携に期待することや困っていることなどありましたら、自由にご記入下さい。

9. 介護予防の口腔機能向上について

- () すでに取り入れている → 担当職員は(衛生士、言語聴覚士、看護師、他())
- () これから取り入れる
- () 今のところ、取り入れる予定はない。

F 現在、口腔ケアで困っていることなどありましたら、自由にご記入ください。

以上、ご協力ありがとうございました。ご記入いただいた内容はこの目的以外に使用しません。

表1-(1)回答者の職務

	度数	%	有効%
総務・事務	17	6.1	6.9
総務・事務兼介護士	1	0.4	0.4
看護師	89	31.8	35.9
看護師兼介護士	2	0.7	0.8
介護士	131	46.8	52.8
歯科衛生士	2	0.7	0.8
言語聴覚士	3	1.1	1.2
その他(生活相談員)	2	0.7	0.8
合計	248	88.6	100
無回答	32	11.4	
合計	280	100	

表1-(2)

	%
無回答	11.4
総務・事務兼介護士	0.4
その他(生活相談員)	0.7
看護師兼介護士	0.7
歯科衛生士	0.7
言語聴覚士	1.1
総務・事務	6.1
看護師	31.8
介護士	46.8

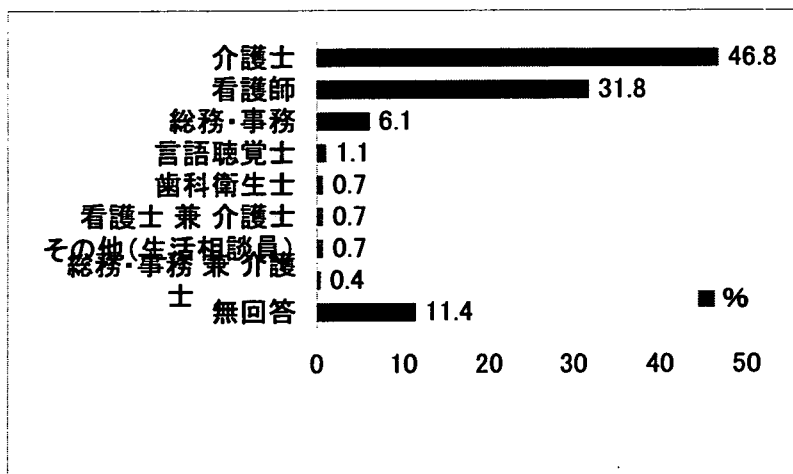


図1 回答者の職務

表2-(1)役職

	度数	%	有効%
管理職(施設長・部長など)	14	5	6.6
中間管理職(課/係長・師/士長)	128	45.7	60.4
非管理職	69	24.6	32.5
合計	212	75.7	100
無回答	68	24.3	
合計	280	100	

表2-(2)

	%
無回答	24.3
管理職(施設長・部長など)	5
非管理職	24.6
中間管理職(課/係長・師/士長)	45.7

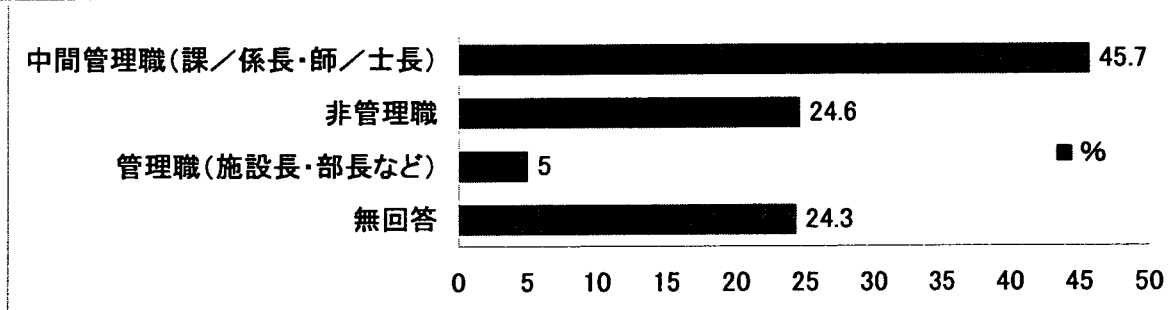


図2 回答者の役職

表3-1(1)所有資格

	度数	%	有効%
医師	1	0.4	0.4
看護師	61	21.8	23.1
看護師・介護福祉士	1	0.4	0.4
看護師・ホームヘルパー・ケアマネージャー	1	0.4	0.4
看護師・ケアマネージャー	22	7.9	8.3
看護師・その他	3	1.1	1.1
介護福祉士	71	25.4	26.9
介護福祉士・社会福祉士・ケアマネージャー	7	2.5	2.7
介護福祉士・ホームヘルパー	9	3.2	3.4
介護福祉士・ホームヘルパー・ケアマネージャー	8	2.9	3
介護福祉士・ホームヘルパー・その他	1	0.4	0.4
介護福祉士・ケアマネージャー	28	10	10.6
介護福祉士・ケアマネージャー・その他	1	0.4	0.4
介護福祉士・その他	1	0.4	0.4
社会福祉士	4	1.4	1.5
社会福祉士・ケアマネージャー	3	1.1	1.1
ホームヘルパー	15	5.4	5.7
ケアマネージャー	13	4.6	4.9
ケアマネージャー・歯科衛生士	2	0.7	0.8
言語聴覚士	3	1.1	1.1
その他	8	2.9	3
合計	264	94.3	100
無回答	16	5.7	
合計	280	100	

表3-1(2)

	度数
無回答	16
その他	8
介護福祉士・その他	1
介護福祉士・ケアマネージャー・その他	1
介護福祉士・ホームヘルパー・その他	1
看護師・ホームヘルパー・ケアマネージャー	1
看護師・介護福祉士	1
医師	1
ケアマネージャー・歯科衛生士	2
看護師・その他	3
言語聴覚士	3
社会福祉士	4
介護福祉士・社会福祉士・ケアマネージャー	7
介護福祉士・ホームヘルパー・ケアマネージャー	8
介護福祉士・ホームヘルパー	9
ケアマネージャー	13
ホームヘルパー	15
看護師・ケアマネージャー	22
介護福祉士・ケアマネージャー	28
看護師	61
介護福祉士	71

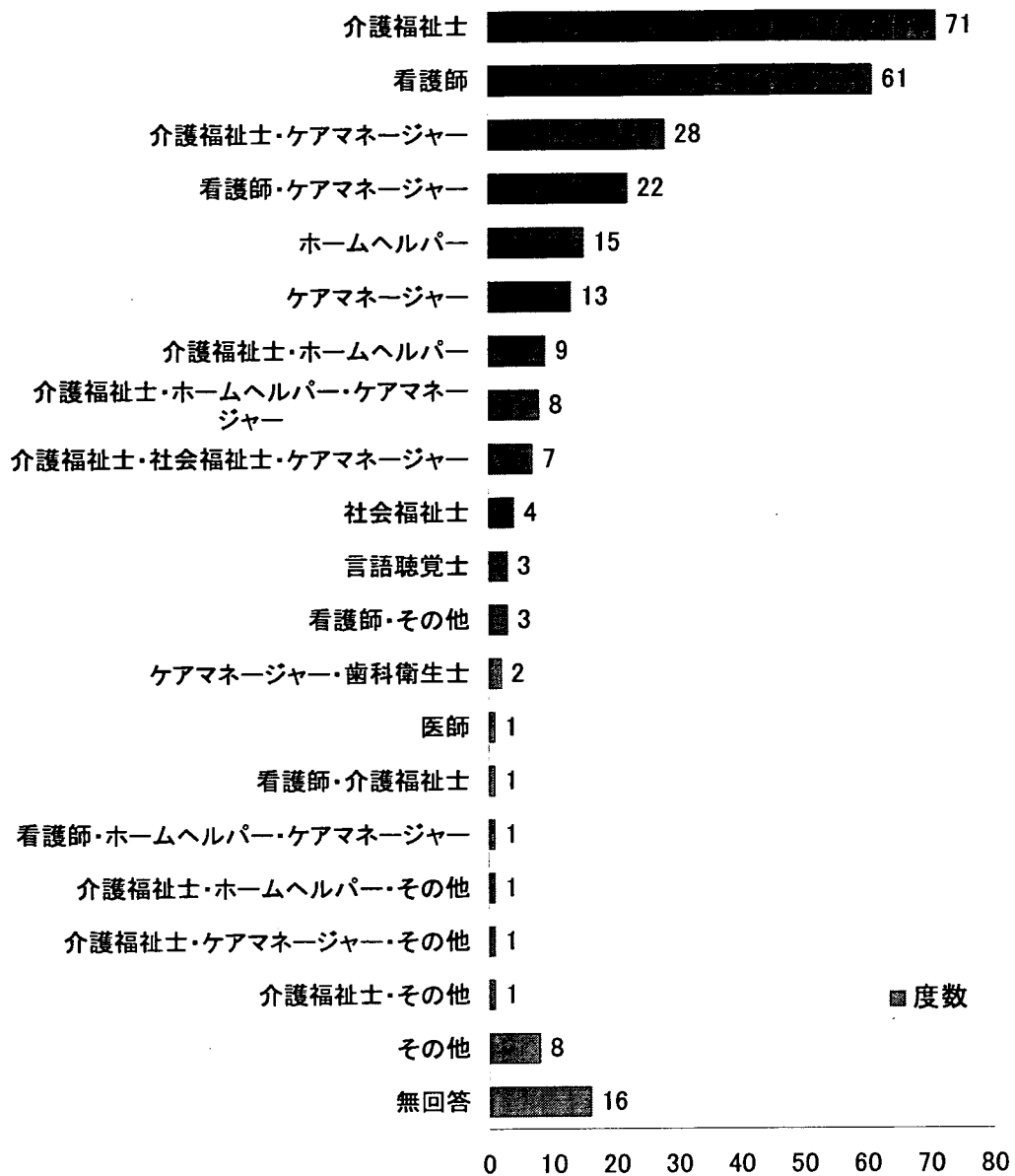


図3 回答者の所有資格

表4-1(1) 専門職としての勤務年数

	度数	%	有効率
～5年	52	18.6	18.6
6～10年	72	25.7	25.7
11～15年	78	27.9	27.9
16～20年	30	10.7	10.7
21～25年	14	5	5
26～30年	17	6.1	6.1
31～35年	4	1.4	1.4
36～40年	2	0.7	0.7
無回答	10	3.6	3.6
合計	280	100	100

表4-1(2)

	度数
無回答	10
36～40年	2
31～35年	4
26～30年	17
21～25年	14
16～20年	30
11～15年	78
6～10年	72
～5年	52

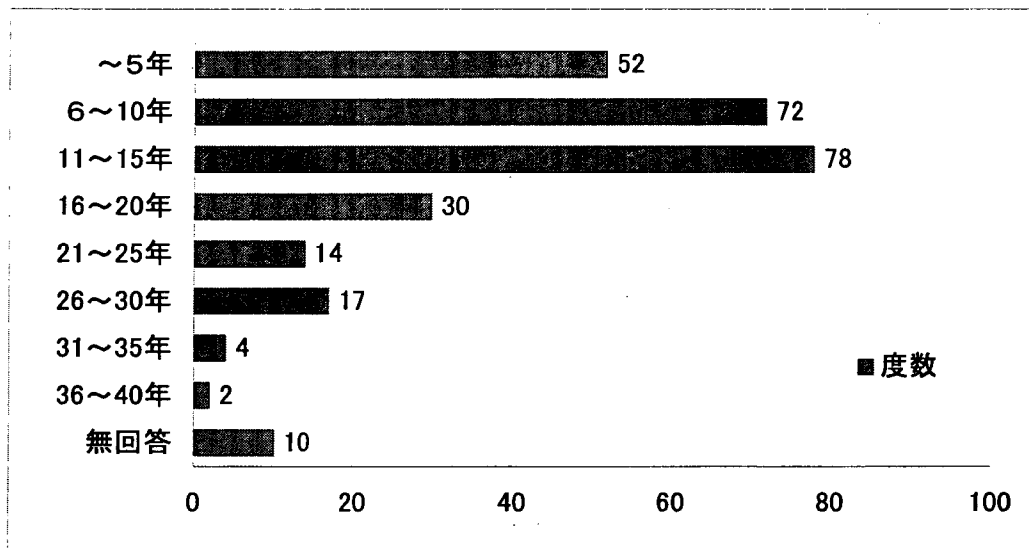


図4 専門職としての勤務年数

表5-1) 職員の研修参加の有無

		はい	いいえ	覚えていない	合計
入所	度数	104	13	2	119
	形体の%	87.4%	10.9%	1.7%	100.0%
通所	度数	62	13	2	77
	形体の%	80.5%	16.9%	2.6%	100.0%
訪問	度数	16	7	1	24
	形体の%	66.7%	29.2%	4.2%	100.0%
グループホーム	度数	9	9		18
	形体の%	50.0%	50.0%		100.0%
ケアハウス	度数	6	8		14
	形体の%	42.9%	57.1%		100.0%
軽費老人ホーム	度数	1	1		2
	形体の%	50.0%	50.0%		100.0%
養護老人ホーム	度数	11			11
	形体の%	100.0%			100.0%
合計	度数	209	51	5	266
	形体の%	78.6%	19.2%	1.9%	100.0%

表5-2)

	はい	いいえ	覚えていない
入所	87.4%	10.9%	1.7%
通所	80.5%	16.9%	2.6%
訪問	66.7%	29.2%	4.2%
グループホーム	50.0%	50.0%	
ケアハウス	42.9%	57.1%	
軽費老人ホーム	50.0%	50.0%	
養護老人ホーム	100.0%		

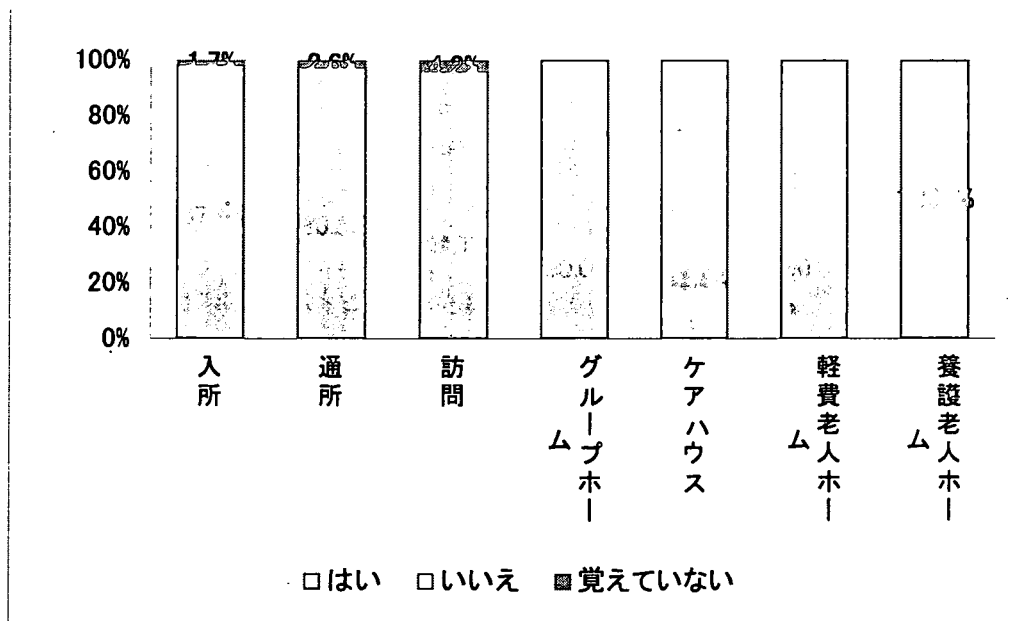


図5 職員の口腔ケアに関する研修参加の有無

表6-1(1) 職員の研修参加回数

		研修参加回数				合計
		1回	2回	3回	4回以上	
入所	度数	21	29	15	36	101
	形体の%	20.8%	28.7%	14.9%	35.6%	100.0%
通所	度数	17	25	7	14	63
	形体の%	27.0%	39.7%	11.1%	22.2%	100.0%
訪問	度数	7	4	2	3	16
	形体の%	43.8%	25.0%	12.5%	18.8%	100.0%
グループホーム	度数	2	4	2	1	9
	形体の%	22.2%	44.4%	22.2%	11.1%	100.0%
ケアハウス	度数	3		1	2	6
	形体の%	50.0%		16.7%	33.3%	100.0%
軽費老人ホーム	度数		1			1
	形体の%		100.0%			100.0%
養護老人ホーム	度数	3	8			11
	形体の%	27.3%	72.7%			100.0%
合計	度数	53	71	27	56	208
	形体の%	25.5%	34.1%	13.0%	26.9%	100.0%

表6-1(2) 研修参加回数

	1回	2回	3回	4回以上
入所	20.8%	28.7%	14.9%	35.6%
通所	27.0%	39.7%	11.1%	22.2%
訪問	43.8%	25.0%	12.5%	18.8%
グループホーム	22.2%	44.4%	22.2%	11.1%
ケアハウス	50.0%		16.7%	33.3%
軽費老人ホーム		100.0%		
養護老人ホーム	27.3%	72.7%		

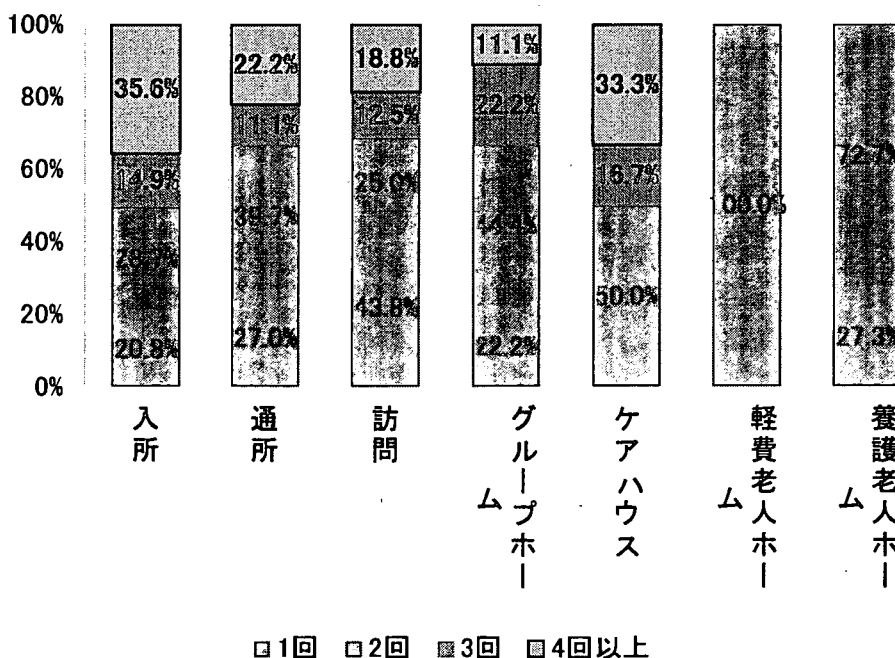


図6 職員の研修参加回数

表7-1) 職員の実技を含む研修参加の有無

		はい	いいえ	覚えていない	合計
入所	度数	66	29	6	101
	形体の%	65.3%	28.7%	5.9%	100.0%
通所	度数	38	21	1	60
	形体の%	63.3%	35.0%	1.7%	100.0%
訪問	度数	10	5		15
	形体の%	63.3%	35.0%	1.7%	100.0%
グループホーム	度数	6	2	1	9
	形体の%	66.7%	22.2%	11.1%	100.0%
ケアハウス	度数	5	1	1	7
	形体の%	71.4%	14.3%	14.3%	100.0%
軽費老人ホーム	度数	1			1
	形体の%	100.0%			100.0%
養護老人ホーム	度数	9			9
	形体の%	100.0%			100.0%
合計	度数	135	58	9	203
	形体の%	66.5%	28.6%	4.4%	100.0%

表7-2)

	はい	いいえ	覚えていない
入所	65.3%	28.7%	5.9%
通所	63.3%	35.0%	1.7%
訪問	63.3%	35.0%	1.7%
グループホーム	63.3%	35.0%	1.7%
ケアハウス	66.7%	22.2%	11.1%
軽費老人ホーム	100.0%		
養護老人ホーム	100.0%		

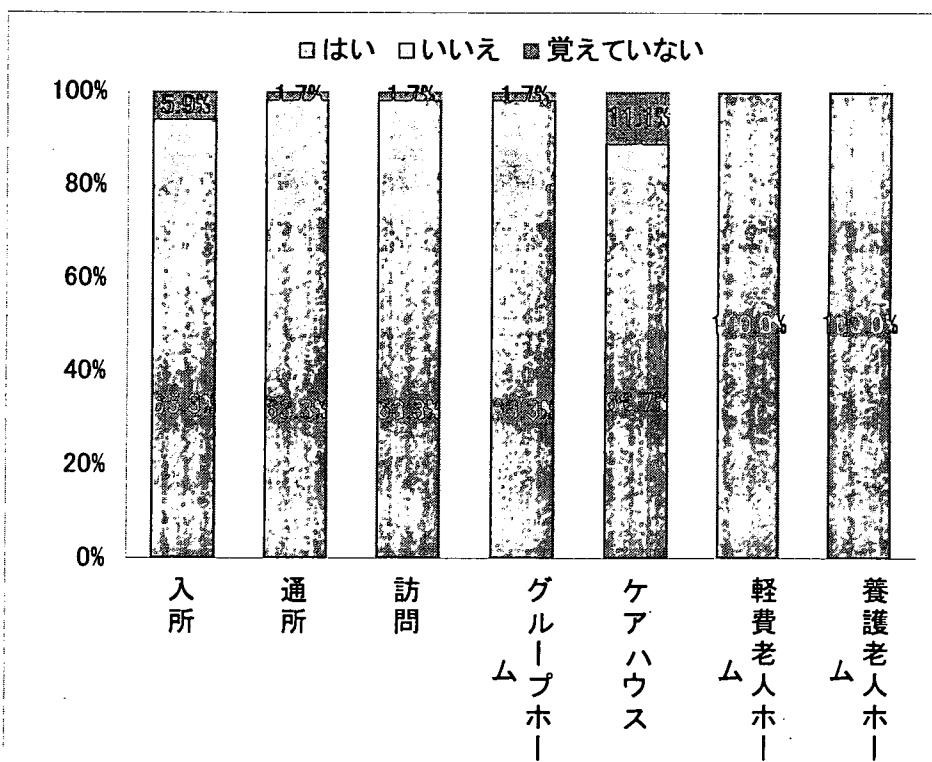


図7 職員の実技を含む研修参加の有無

表8-1) 施設の種類の種類

施設の種類の種類	度数	%
介護老人保健施設(入所)	31	11.1
介護老人保健施設(短期入所)	3	1.1
介護老人福祉施設(入所)	78	27.9
介護老人福祉施設(短期入所)	20	7.1
デイケア	22	7.9
デイサービス	54	19.3
その他	71	25.4
合計	280	100

表8-2)

施設の種類の種類	度数
介護老人福祉施設(入所)	78
デイサービス	54
介護老人保健施設(入所)	31
デイケア	22
介護老人福祉施設(短期入所)	20
その他	71

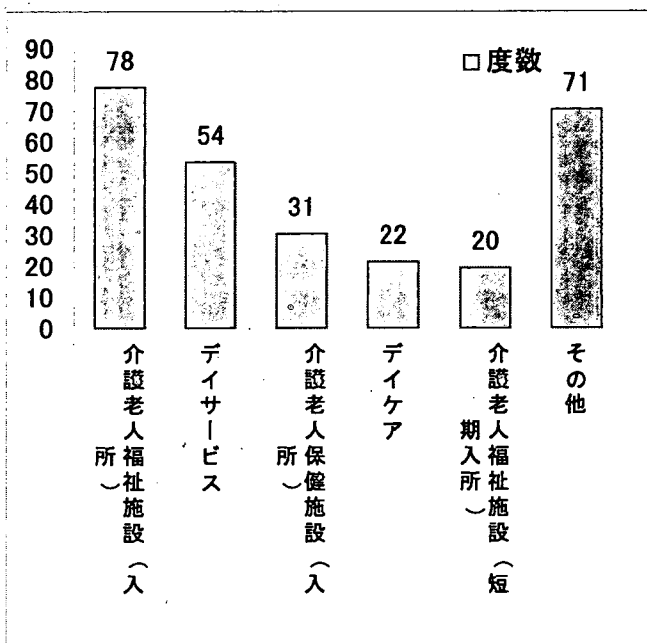


図8 施設の種類の種類

表9-1) 施設の定員数

	度数	パーセント
無回答	34	12.1
~20人	67	23.9
21~40人	51	18.2
41~60人	55	19.6
61人~80人	54	19.3
81人から100人	8	2.9
101人~120人	9	3.2
121人~140人	1	0.4
合計	280	100

表9-2)

	度数
無回答	34
121人~140人	1
101人~120人	9
81人から100人	8
61人~80人	54
41~60人	55
21~40人	51
~20人	67

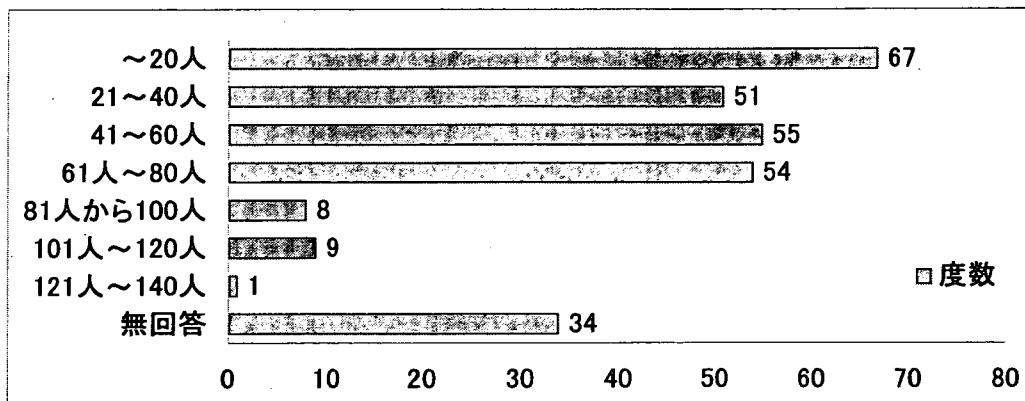


図9 施設の定員数

表10 口腔ケアに関する質問10項目

	はい	大体	少し	いいえ	わからない
要介護者の口腔ケアの方法について説明できる	14.3%	28.2%	34.8%	17.6%	5.1%
家族の歯磨きをしたことがある	44.0%	1.5%	8.0%	46.2%	0.4%
口腔ケア実施後の評価をしている	9.5%	13.5%	17.9%	55.8%	3.3%
口腔ケアプランを立案できる	10.2%	19.3%	18.6%	43.4%	8.4%
個人に合わせた口腔ケア物品が選択できる	14.4%	29.5%	27.7%	22.7%	5.8%
口腔のアセスメントができる	8.3%	26.4%	26.4%	30.4%	8.3%
自信を持って口腔ケアができる	14.4%	44.2%	21.9%	15.1%	4.3%
口腔内が乾燥していると誤嚥のリスクは高くなる	92.7%	2.9%	1.8%	1.5%	1.1%
口腔ケアで肺炎予防は可能である	87.5%	5.0%	4.3%	0.7%	2.5%
食べていない人の口腔ケアは毎日必要だと思う	95.7%	2.5%	1.1%	0.4%	0.4%

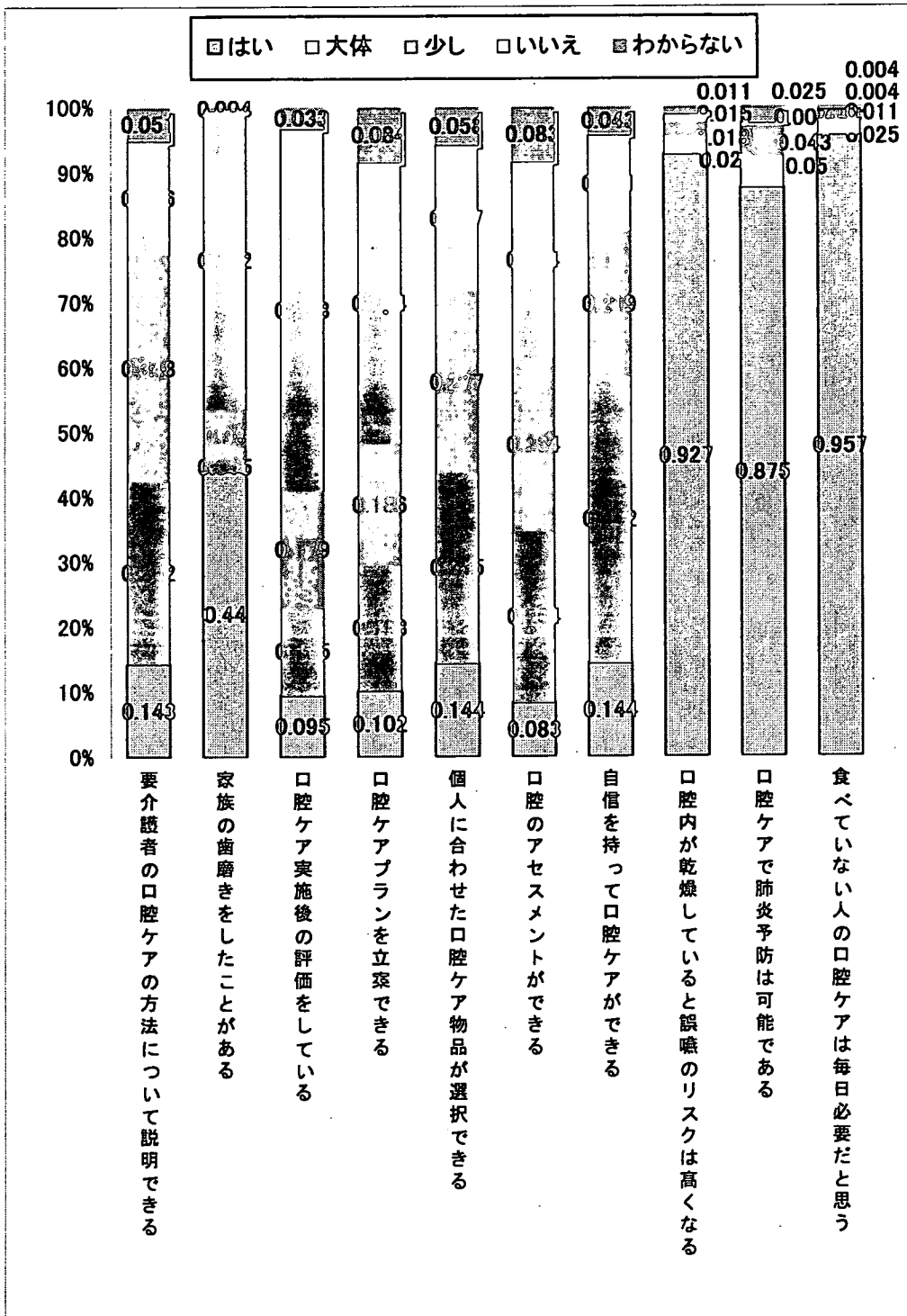


図10 口腔ケアに関する質問10項目

表11-1) 「食べていない人の口腔ケアは毎日必要だと思う」

		いいえ	少し	大体	はい	わからない	合計
入所	度数		3	3	172		178
	形体の%		1.7%	1.7%	96.6%		100%
通所	度数	1		4	69	1	75
	形体の%	1.3%		5.3%	92.0%	1.3%	100%
訪問	度数				24		24
	形体の%				100%		100%
合計	度数	1	3	7	265	1	277
	形体の%	0.4%	1.1%	2.5%	95.7%	0.4%	100%

表11-2)

	はい	大体	少し	いいえ	わからない
入所	96.6%	1.7%	1.7%		
通所	92.0%	5.3%		1.3%	1.3%
訪問	100.0%				

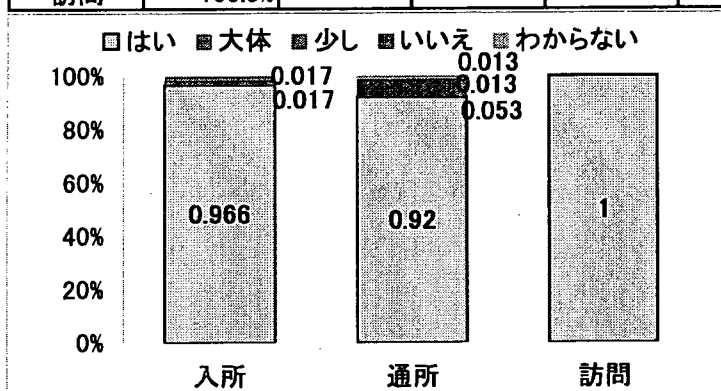


図11 「食べていない人の口腔ケアは毎日必要だと思う」

表12-1) 「口腔ケアで肺炎予防は可能である」

		いいえ	少し	大体	はい	わからない	合計
入所	度数		10	8	158	3	179
	形体の%		5.6%	4.5%	88.3%	1.7%	100.0%
通所	度数	2	2	6	63	3	76
	形体の%	2.6%	2.6%	7.9%	82.9%	3.9%	100.0%
訪問	度数				23	1	24
	形体の%				95.8%	4.2%	100.0%
合計	度数	2	12	14	244	7	279
	形体の%	0.7%	4.3%	5.0%	87.5%	2.5%	100.0%

表12-2)

	はい	大体	少し	いいえ	わからない
入所	88.3%	4.5%	5.6%		1.7%
通所	82.9%	7.9%	2.6%	2.6%	3.9%
訪問	95.8%				4.2%

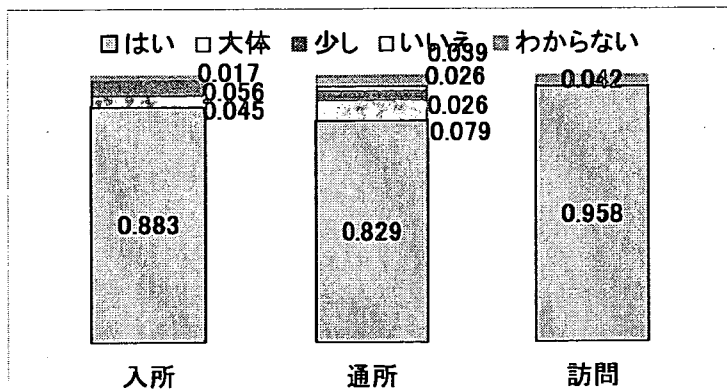


図12 「口腔ケアで肺炎予防は可能である」

表13-1)「口腔内が乾燥していると誤嚥のリスクが高くなる」

		いいえ	少し	大体	はい	わからない	合計
入所	度数	1	4	5	166	2	178
	形体の%	0.6%	2.2%	2.8%	93.3%	1.1%	100.0%
通所	度数	3	1	3	66	1	74
	形体の%	4.1%	1.4%	4.1%	89.2%	1.4%	100.0%
訪問	度数				23		23
	形体の%				100.0%		100.0%
合計	度数	4	5	8	255	3	275
	形体の%	1.5%	1.8%	2.9%	92.7%	1.1%	100.0%

表13-2)

	はい	大体	少し	いいえ	わからない
入所	93.3%	2.8%	2.2%	0.6%	1.1%
通所	89.2%	4.1%	1.4%	4.1%	1.4%
訪問	100.0%				

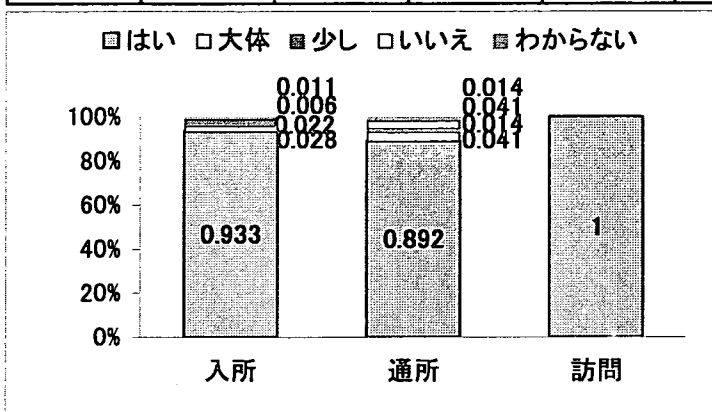


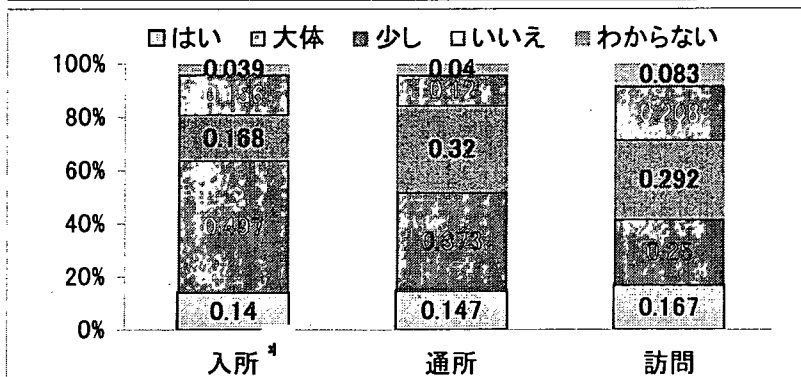
図13 「口腔内が乾燥していると誤嚥のリスクが高くなる」

表14-1)「自信を持って口腔ケアができる」

		いいえ	少し	大体	はい	わからない	合計
入所	度数	28	30	89	25	7	179
	形体の%	15.6%	16.8%	49.7%	14.0%	3.9%	100%
通所	度数	9	24	28	11	3	75
	形体の%	12.0%	32.0%	37.3%	14.7%	4.0%	100%
訪問	度数	5	7	6	4	2	24
	形体の%	20.8%	29.2%	25.0%	16.7%	8.3%	100%
合計	度数	42	61	123	40	12	278
	形体の%	15.1%	21.9%	44.2%	14.4%	4.3%	100%

表14-2)

	はい	大体	少し	いいえ	わからない
入所	14.0%	49.7%	16.8%	15.6%	3.9%
通所	14.7%	37.3%	32.0%	12.0%	4.0%
訪問	16.7%	25.0%	29.2%	20.8%	8.3%



* P<0.05(はい、大体)

図14 「自信を持って口腔ケアができる」

表15-(1)「口腔のアセスメントができる」

		いいえ	少し	大体	はい	わからない	合計
入所	度数	46	47	52	16	18	179
	形体の%	25.7%	26.3%	29.1%	8.9%	10.1%	100.0%
通所	度数	29	19	20	4	1	73
	形体の%	39.7%	26.0%	27.4%	5.5%	1.4%	100.0%
訪問	度数	9	7	1	3	4	24
	形体の%	37.5%	29.2%	4.2%	12.5%	16.7%	100.0%
合計	度数	84	73	73	23	23	276
	形体の%	30.4%	26.4%	26.4%	8.3%	8.3%	100.0%

表15-(2)

	はい	大体	少し	いいえ	わからない
入所	8.9%	29.1%	26.3%	25.7%	10.1%
通所	5.5%	27.4%	26.0%	39.7%	1.4%
訪問	12.5%	4.2%	29.2%	37.5%	16.7%

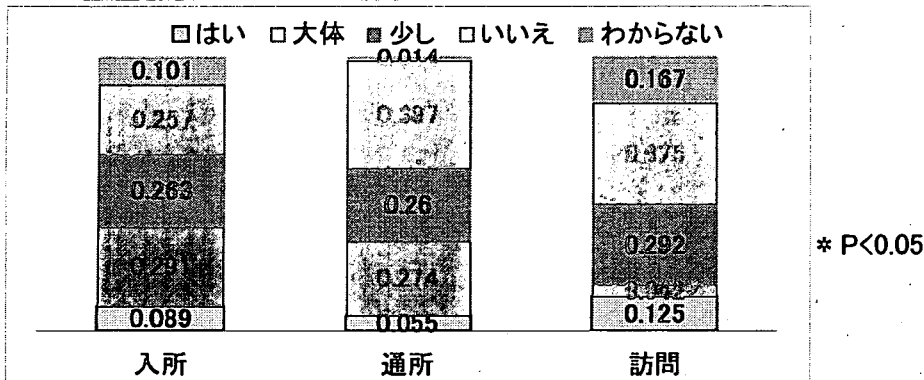


図15 「口腔のアセスメントができる」

表16-(1)「個人に合わせた口腔ケア用品が選択できる」

		いいえ	少し	大体	はい	わからない
入所	度数	32	49	61	32	5
	形体の%	17.9%	27.4%	34.1%	17.9%	2.8%
通所	度数	26	20	18	4	7
	形体の%	34.7%	26.7%	24.0%	5.3%	9.3%
訪問	度数	5	8	3	4	4
	形体の%	20.8%	33.3%	12.5%	16.7%	16.7%
合計	度数	63	77	82	40	16
	形体の%	22.7%	27.7%	29.5%	14.4%	5.8%

表16-(2)

	はい	大体	少し	いいえ	わからない
入所	17.9%	35.1%	27.4%	17.9%	2.8%
通所	5.3%	24.0%	26.7%	34.7%	9.3%
訪問	16.7%	12.5%	33.3%	20.8%	16.7%

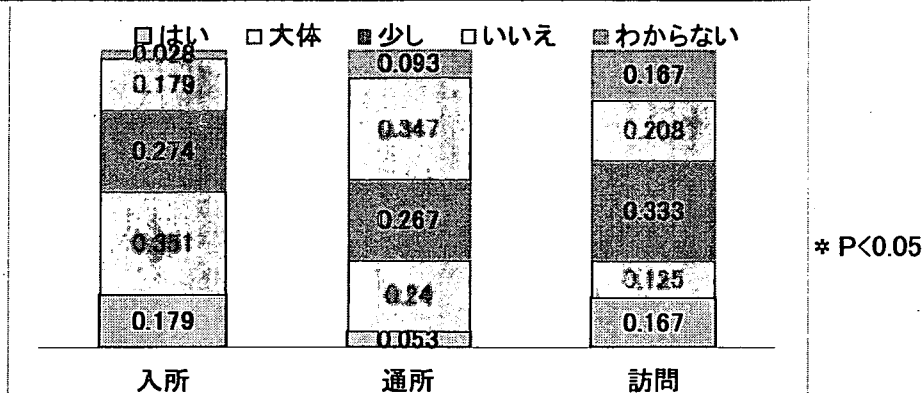


図16 「個人に合わせた口腔ケア用品が選択できる」

表17-1)「口腔ケアプランを立案できる」

		いいえ	少し	大体	はい	わからない	合計
入所	度数	70	33	38	20	17	178
	形体の%	39.3%	18.5%	21.3%	11.2%	9.6%	100.0%
通所	度数	38	14	12	6	3	73
	形体の%	52.1%	19.2%	16.4%	8.2%	4.1%	100.0%
訪問	度数	11	4	3	2	3	23
	形体の%	47.8%	17.4%	13.0%	8.7%	13.0%	100.0%
合計	度数	119	51	53	28	23	274
	形体の%	43.4%	18.6%	19.3%	10.2%	8.4%	100.0%

表17-2)

	はい	大体	少し	いいえ	わからない
入所	11.2%	21.3%	18.5%	39.3%	9.6%
通所	8.2%	16.4%	19.2%	52.1%	4.1%
訪問	8.7%	13.0%	17.4%	47.8%	13.0%

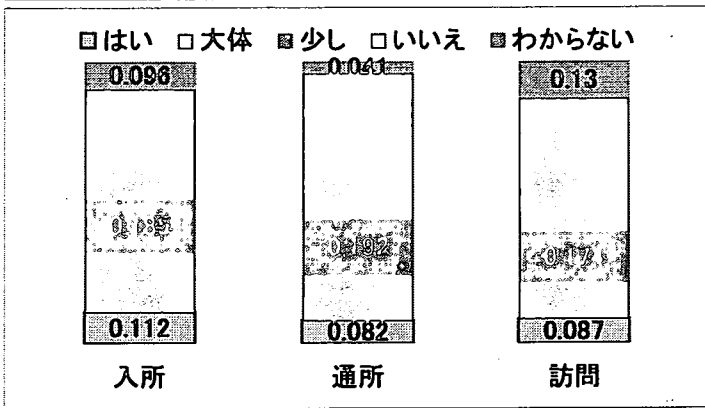


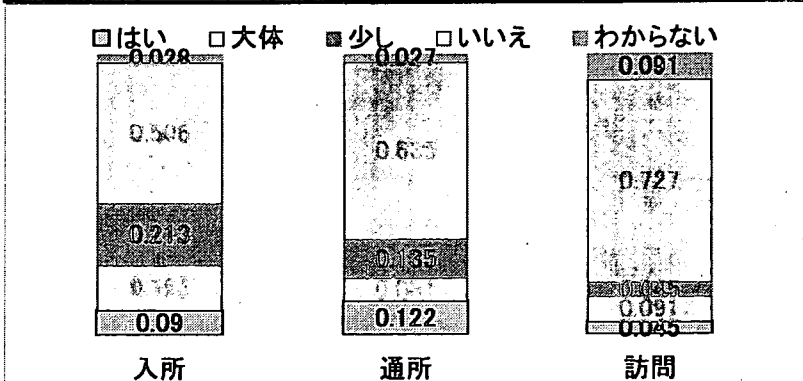
図17 「口腔ケアプランを立案できる」

表18-1)「口腔ケア実施後の評価をしている」

		いいえ	少し	大体	はい	わからない	合計
入所	度数	90	38	29	16	5	178
	形体の%	50.6%	21.3%	16.3%	9.0%	2.8%	100.0%
通所	度数	47	10	6	9	2	74
	形体の%	63.5%	13.5%	8.1%	12.2%	2.7%	100.0%
訪問	度数	16	1	2	1	2	22
	形体の%	72.7%	4.5%	9.1%	4.5%	9.1%	100.0%
合計	度数	153	49	37	26	9	274
	形体の%	55.8%	17.9%	13.5%	9.5%	3.3%	100.0%

表18-2)

	はい	大体	少し	いいえ	わからない
入所	9.0%	16.3%	21.3%	50.6%	2.8%
通所	12.2%	8.1%	13.5%	63.5%	2.7%
訪問	4.5%	9.1%	4.5%	72.7%	9.1%



* P<0.05

図18 「口腔ケア実施後の評価をしている」